

つくる冒険

日本のアール・ブリュット45人

2025
7/12 (土)
→ 9/7 (日)

石野敬祐	高橋重美
伊藤峰尾	土屋正彦
伊藤喜彦	富塚純光
岩崎司	西本政敏
上里浩也	畑名祐孝
上田志保	畑中亜未
内山智昭	秦野良夫
大槻公子	平岡伸太
大久保寿	平瀬敏裕
小幡正雄	平野信治
鎌江一美	藤野公一
狩俣明宏	戸來貴規
橘高博枝	松田僚馬
木伏大助	松本寛庸
木村茜	水谷伸郎
木本博俊	宮間英次郎
齋藤裕一	村田清司
佐々木早苗	八重樫道代
澤田真一	八島孝一
滋賀俊彦	山崎健一
芝田貴子	吉川秀昭
舩次崇	吉澤健
高橋和彦	

たとえば、「も」を何百回と書く。



青森県「たけなも」2009-2006 滋賀県立美術館蔵 撮影・生田共吉

開場時間：9:30-17:00(入場は16:30まで) 休館日：月曜日(7/21、8/11は除く)、7/22(火)、8/12(火)

観覧料：一般920円(720円)、高大生610円(410円)、小中生300円(200円) * () は前売り、10名以上の団体料金。未就学児無料(要保護者同伴)

* リピーター割引、親子割引など、お得な料金もあります。詳細は、函館美術館までお問い合わせください。 * 無料になる方：身体障害者手帳や療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方(マイリロID利用可)及びその介護者(1名)など。 * 学校の教育活動で利用する場合は無料

主催：北海道立函館美術館、一般財団法人 日本財団DIVERSITY IN THE ARTS 共催：北海道新聞函館支社

後援：函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、FMいるか

協力：福祉とアーツ北海道、北海道旅客鉄道株式会社函館支社、五稜郭タワー株式会社、函館美術館ボランティアいちいの会

特別協力：滋賀県立美術館 企画：山田 創(滋賀県立美術館学芸員)

※ 展覧会およびイベントの予定は、やむを得ず変更となることがございます。その場合は、当館ホームページ等にてお知らせいたします。

日本語では、「生(なま)の芸術」と訳されてきたアール・ブリュット。1940年代、フランスの画家、ジャン・デュビュッフエが、精神障がい者や独学のつくり手などの作品に心を打たれ、提唱した美術の概念です。

今回は、滋賀県立美術館所蔵の45人のアール・ブリュットのつくり手による日本財団コレクションを函館でお披露目します。滋賀県立美術館は世界でも有数のアール・ブリュット作品コレクションを有していることで知られ、その中からまとまった作品群を函館でみることができる貴重な機会です。本展に加えて、道南地域のアール・ブリュット作品も紹介します。たとえば、「も」を何百回も書いたり、他人には読めない文字で毎日同じ内容の日記を記したり、寝る間を惜しんで記号を描き続けたり一沓えたひらめきや、ひたむきなこだわりを形にするため、出どころの謎めいた発想と熱量をもって挑む、そんな冒険的な創作との出会いをお楽しみください。

45人の作品が 滋賀県立美術館に収蔵されるまで

2010年、パリのアル・サン・ピエール美術館で「アール・ブリュット・ジャポネ(邦訳:日本のアール・ブリュット)」という展覧会が開催されました。主な出展者は、日本の知的障がいや精神障がいのある人たち。その独創的な作品群は、パリで高い評価を受けた後、逆輸入的に日本でも注目を集めました。

本展に出品される45人の作品は、「アール・ブリュット・ジャポネ」展に出展された後、公益財団法人日本財団が収蔵し、保管してきたものです。2023年、さらなる活用を目的に、アール・ブリュットを収集方針に掲げる国内唯一の公立美術館である滋賀県立美術館に寄贈されました。これにより、滋賀県立美術館は世界でも有数のアール・ブリュット作品のコレクションを有する美術館となりました。

会期中は関連イベント、学芸員による見どころ解説、ハコビ・アトリエなどを予定しています。
また、道南地域のアール・ブリュット作品も展示します。
詳細が決まり次第、当館ホームページ等でお知らせいたします。

ファミリータイム 毎週日曜日 9:30-12:00

毎週日曜日の午前中は、小さなお子さま連れの家族にゆっくり美術鑑賞を楽しんでいただくファミリータイムとさせていただきます。「泣いてしまうから」「声を出すから」などの理由で、美術鑑賞を遠慮されている家族の皆さん、ぜひご利用ください。カフェの一角に絵本コーナーを設けています。また、館内にベビーベッドを備えた授乳室もあります。

※一般の観覧者の皆様へ
この時間帯、展示室の中が多少にぎやかになることがあります
が、子育て応援プロジェクトへのご理解とご協力をお願いいたします。

作品数 約450点。 45人のつくる冒険。



佐々木昌雄「へしこ」制作年不詳



澤田真一「無題」2006-2007



石野敏雄「文の字」2008



八重樫理代「オナグサグサ」2002

4点すべて 滋賀県立美術館蔵 撮影:大西暢夫
画像提供:ボードレス・アートミュージアムNO-MA

同時開催 ミュージアム・コレクション

■ 常設展示室 道南の精鋭シーズン2 第2回 小池貴之展 7月12日(土) - 9月7日(日)



小池貴之「函館山」
2024(令和6)年 作家蔵

道南ゆかりの美術家を紹介するシリーズ展。今回は、函館出身で東京を拠点に活動する小池貴之の作品のうち、幕末・明治期の写真技法である、コロジオン湿板方式を応用したアンプロタイプや、鶏卵紙に焼き付けた写真を紹介します。

■ 鷗亭記念室 旅する鷗亭 4月19日(土) - 9月7日(日)



金子鷗亭「自作句 宋晝 春ロンドン」1993(平成5)年 当館蔵

金子鷗亭は広く世界に眼を向け、書の振興のために積極的に海外の書道展にも出向きました。鷗亭が世界をめぐった経験を元に書いた作品から旅の足跡をたどります。

観覧料:一般260(210)円、高大生150(110)円 ※ミュージアム・コレクション両展共通

* ()内は10名以上の団体料金 * 無料になる方:中学生以下及び65歳以上、身体障害者手帳や療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方(マイリポートID利用可)及びその介護者(1名)など

* 高校生は毎週土曜日及び学校の教育活動で利用する場合は無料

交通案内



市電:「五稜郭公園前」下車徒歩約7分
バス:「五稜郭公園入口」「芸術ホール前」「五稜郭病院前」
「五稜郭」下車徒歩3~10分
タクシー:JR函館駅より約10分/函館空港より約20分
駐車場:函館市芸術ホール駐車場をお使いいただけます。
※当館ご利用の方は駐車料金2時間まで無料になります。

北海道立函館美術館 HAKODATE MUSEUM OF ART,
HOKKAIDO
〒040-0001 函館市五稜郭 37-6
TEL. 0138-56-6311
<https://artmuseum.pref.hokkaido.lg.jp/hbj/>

